



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月7日

上場会社名 旭松食品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2911 URL <https://www.asahimatsu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木下 博隆
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 足立 恵 (TEL) 06-6306-4121
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績 (2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	1,823	0.4	△55	—	△28	—	△3	—
2026年3月期第1四半期	1,815	△3.6	28	15.1	72	65.6	46	71.3

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 120百万円 (61.6%) 2026年3月期第1四半期 74百万円 (△23.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△1.92	—
2026年3月期第1四半期	25.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	10,314	8,341	80.9
2026年3月期	10,317	8,397	81.4

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 8,341百万円 2026年3月期 8,397百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想 (2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	7,800	1.5	120	36.7	210	2.3	150	△35.0
								82.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2027年3月期1Q	1,876,588株	2026年3月期	1,876,588株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2027年3月期1Q	61,078株	2026年3月期	18,620株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2027年3月期1Q	1,836,404株	2026年3月期1Q	1,848,611株
------------	------------	------------	------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況」の「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(重要な後発事象の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、個人消費に持ち直しの動きがみられ景気は緩やかな回復基調で推移した一方、円安が継続し各種調達コストの増加が続きました。また、中東情勢の緊迫化に伴う資源価格の高騰やサプライチェーンの目詰まりなど供給面への影響懸念も続いております。

食品業界におきましても、生活必需品としての需要は底堅い一方、輸入原材料等の調達コスト増、物流費・人件費などの上昇対応のため価格改定を実施する企業は多く、消費者の節約意識も高まっております。また、食品に対する安全・安心への要求は依然として強く、高い品質・衛生管理体制の維持・向上が求められており、そのためのコストも継続して増大しております。

このような状況のなか、当社グループでは継続して品質向上や商品の付加価値向上に積極的に取り組み、その広報に努めております。原材料やエネルギーコストの増加に伴う、製造原価の上昇は避けて通ることができませんが、収益面への影響を抑えるため引き続き合理化、省力化、経費削減施策を実施しております。

当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、期初では販売数量の伸び悩みはみられましたが、差別化を図った高付加価値商品の販売活動により回復傾向がみられ、売上高は18億2千3百万円（前年同四半期比0.4%増）となりました。利益面では、円安の継続や中東情勢の影響もあり依然として原材料やエネルギー価格、さらには人件費などの製造コスト上昇が続いており、合理化や諸経費削減などの施策を継続して図ってまいりましたが、営業損失は5千5百万円（前年同四半期は2千8百万円の利益）、経常損失は2千8百万円（同7千2百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は3百万円（同4千6百万円の利益）となりました。

部門別概況は、次のとおりであります。

〔凍豆腐〕

凍豆腐では、健康機能性についての特徴や、美味しさ、品質面でのこだわりなど付加価値の広報・営業活動を行ってまいりました。当社グループでは賞味期限の延長にも寄与する高オレイン酸大豆を使った商品の拡大に努めており、なかでも国産の高オレイン酸大豆はトヨタ自動車㈱からの原料供給により新商品の開発・発売に至りました。さらには、当社研究所と信州大学との共同研究の成果、すなわち凍豆腐に多く含まれるレジスタントプロテインが腸管でのGLP-1産生を高め、肥満・脂肪肝を予防するという新たな事実が明らかとなり、各種メディアでも紹介されたことから市場が活性化し、売上高は8億1百万円（前年同四半期比3.2%増）となりました。

〔加工食品(即席みそ汁等)〕

加工食品では、継続して単品収益管理を徹底し収益力の向上と商品改廃のスピードアップを図っており、大手流通等との企画商品の開発・発売やリニューアルにより増収となったほか、当社グループが具材から製造している「袋入りひきわり納豆汁3食」が好調に推移しており、売上高は5億5千3百万円（同3.2%増）となりました。

〔その他食料品〕

その他食料品のうち医療用食材については、えん下困難者向けの調理済み・形態調整済み食品として豊富なメニューを取り揃え、病院・介護施設での厨房業務の省力化や標準化、人手不足の解消などに寄与しており、医療専門誌でも2026年度診療報酬改定に適した食品として紹介されております。さらに昨年度に最新の製造設備を導入し、美味しさを向上させた商品に順次切り替えるなど拡販に努めましたが、その他食料品全体では、売上高は4億6千8百万円（同6.8%減）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当社グループの資本の財源及び資金の流動性につきましては、以下のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度に比べ3百万円減少し103億1千4百万円（前連結会計年度比0.0%減）となりました。増加の要因としては、棚卸資産の増加5千5百万円や、投資有価証券の時価評価などによる増加1億6千9百万円などがあり、減少の要因としては、現金及び預金の減少1億9百万円や、季節的な変動要因が大きい売上高の減少に起因する売掛金の減少1億2千8百万円などが主な要因です。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度に比べ5千1百万円増加し19億7千2百万円（同2.7%増）となりました。減少の要因としては、返済に伴う長期借入金の減少6千万円や、賞与引当金の減少1千6百万円などがあり、増加の要因としては、買掛金の増加3千6百万円や、未払金の増加2千3百万円、繰延税金負債の増加4千8百万円などが主な要因です。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度に比べ5千5百万円減少し83億4千1百万円（同0.7%減）となりました。増加の要因としては、その他投資有価証券評価差額金の増加1億2千3百万円があり、減少の要因としては、配当金支払などによる利益剰余金の減少8千7百万円や、自己株式取得による減少9千2百万円が主な要因です。

以上により自己資本比率は前連結会計年度に比べ0.5ポイント減少し80.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月15日に公表いたしました2027年3月期の連結業績予想に変更はありません。なお、2026年7月24日開催の取締役会において決議いたしました、当社が保有する投資有価証券の一部売却による影響につきましては、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記」の「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」の「(重要な後発事象の注記)」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,960,885	1,851,143
売掛金	1,287,445	1,159,253
棚卸資産	1,560,714	1,616,233
その他	80,764	81,628
流動資産合計	4,889,809	4,708,258
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,756,548	5,766,440
減価償却累計額	△4,899,167	△4,919,678
建物及び構築物（純額）	857,380	846,762
機械装置及び運搬具	7,507,076	7,539,570
減価償却累計額	△6,185,989	△6,238,912
機械装置及び運搬具（純額）	1,321,086	1,300,658
土地	1,665,271	1,665,271
リース資産	147,632	158,512
減価償却累計額	△98,160	△105,636
リース資産（純額）	49,471	52,876
建設仮勘定	2,956	27,333
その他	474,220	494,487
減価償却累計額	△394,134	△396,111
その他（純額）	80,085	98,376
有形固定資産合計	3,976,252	3,991,278
無形固定資産	102,315	96,679
投資その他の資産		
投資有価証券	1,243,760	1,412,956
繰延税金資産	2,464	1,461
その他	103,378	103,579
投資その他の資産合計	1,349,603	1,517,997
固定資産合計	5,428,172	5,605,955
資産合計	10,317,981	10,314,213

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	301,826	337,960
電子記録債務	142,332	134,471
短期借入金	242,706	241,872
リース債務	24,920	26,440
未払金	249,652	272,798
未払法人税等	25,407	14,583
賞与引当金	34,849	17,884
その他	105,669	143,027
流動負債合計	1,127,365	1,189,038
固定負債		
長期借入金	454,782	394,590
リース債務	30,678	32,903
長期未払金	31,473	30,842
繰延税金負債	226,109	275,013
資産除去債務	43,494	43,472
その他	6,700	6,700
固定負債合計	793,237	783,522
負債合計	1,920,603	1,972,561
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,844	1,617,844
資本剰余金	1,634,249	1,634,249
利益剰余金	4,659,578	4,572,436
自己株式	△40,536	△132,756
株主資本合計	7,871,135	7,691,774
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	526,243	649,877
その他の包括利益累計額合計	526,243	649,877
純資産合計	8,397,378	8,341,652
負債純資産合計	10,317,981	10,314,213

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	1,815,195	1,823,362
売上原価	1,286,029	1,388,053
売上総利益	529,165	435,308
販売費及び一般管理費	500,588	490,941
営業利益又は営業損失(△)	28,577	△55,633
営業外収益		
受取利息	2,852	484
受取配当金	16,150	21,042
受取賃貸料	1,080	1,499
受取技術料	5,367	3,944
補助金収入	15,811	450
雑収入	5,147	2,796
営業外収益合計	46,409	30,218
営業外費用		
支払利息	1,152	1,715
賃貸収入原価	669	609
雑損失	237	358
営業外費用合計	2,059	2,683
経常利益又は経常損失(△)	72,927	△28,098
特別利益		
固定資産売却益	-	11,675
投資有価証券売却益	-	13,620
特別利益合計	-	25,295
特別損失		
固定資産除却損	1,088	387
特別損失合計	1,088	387
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	71,838	△3,190
法人税、住民税及び事業税	4,808	7,275
法人税等調整額	19,759	△6,933
法人税等合計	24,568	342
四半期純利益又は四半期純損失(△)	47,270	△3,532
非支配株主に帰属する四半期純利益	323	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	46,946	△3,532

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	47,270	△3,532
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	60,230	123,634
為替換算調整勘定	△33,203	-
その他の包括利益合計	27,027	123,634
四半期包括利益	74,297	120,101
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	77,294	120,101
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,996	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、食料品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	115,160千円	111,198千円

(重要な後発事象の注記)

(投資有価証券の売却)

当社は、2026年7月24日開催の取締役会において、当社が保有する投資有価証券の一部を売却することを決議いたしました。

1. 投資有価証券売却の理由

政策保有株式の縮減と、資産の効率化を図るため。

2. 投資有価証券売却の内容

- | | |
|---------------|-----------------------|
| (1) 売却株式 | 当社保有の上場有価証券3銘柄 |
| (2) 売却期間 | 2026年7月27日～2026年9月30日 |
| (3) 投資有価証券売却益 | 100百万円(見込み) |

3. 今後の見通し

上記の投資有価証券売却益は、2027年3月期 第2四半期連結会計期間に特別利益として計上する見込みです。売却益が確定次第、速やかに公表いたします。なお、当期の通期連結業績予想につきましては現在精査中であり、他の要因なども含め今後業績を見直す必要が生じた場合には速やかにお知らせいたします。